

# ひかりのこ

5月園便り

聖ミカエル幼稚園

2013年4月26日発行

## 月主題：うれしい出会い

4月17日の父母の会総会では、たくさんの保護者の皆さんにお集まりいただき、今年度の保育についてお話をすることができました。子どもたちだけでなく、大人の私たちも新しい出会いに感謝し、この出会いをきっかけとして、互いを高め合う素敵なつながりができますよう、心からお祈りしております。

さて、この日の総会でお話をしてくださった「子どものとも社」の藤田さんが、絵本の部屋を見に来てくださいました。きれいになったお部屋に、ミカエル幼稚園が絵本の保育に力を入れていることを改めて感じてくださったようです。これから、どのように絵本保育を進めていったらいいかについて、「幼稚園で子どもたちのブームになっている絵本がご家庭にも伝わっていくことで、親も子ども絵本を楽しむことができるような仕掛けを作っていくといいですよ」、教えていただきました。

今年度も絵本の予算を昨年度同様多くとり、読み継がれる名作の絵本、幼児向けの図鑑など、良い絵本をたくさん入れていきたいと考えています。また、その絵本で、いかに子どもたちを保育していくのか、私たち保育者が工夫していくとともに、絵本保育がご家庭にもつながるよう、ホームページや登降園の折に、発信をしていきたいと考えております。

園長 渡部 良子

## キリスト教保育

早いもので、胸がときめく入園式と進級から、もう一ヶ月がたちました。未だ経験したことのない新しい環境、ちょっぴり不安な思いも抱いて2013年の新しい学期が始まりました。

それぞれ年中・年長のお兄さん・お姉さんになったお友たちとオムツをとったばかりのまだまだ幼く見える年少のお友たち。お互いに助け合いながら新しい環境に慣れていく姿を通して本当に多くのことを学び、多くのものを感じていくことでしょう。一年、二年前には、幼稚園の玄関先で、そして、園バスの前でエーンエーンと泣いていた年中・年長のお友たちが懸命に年少のお友たちの世話をしあえる姿を見ると、時には微笑ましく、時には可愛くて思わず笑ってしまいます。きっと、一年、二年後には、今の年少のお友たちも素敵なお兄さん・お姉さんになって、年少のお友たちのお世話をしあげていることでしょう。

時に、新しい世界に向けての一步はときめきより不安に感じる場合があります。しかし、意外に子ども達は大人よりもかなり柔軟に新しい環境になれていくものです。この一年、二年であれほど成長した年中・年長のお友たちがその証しです。これからは、日々成長していく子どもたちのために、親の気持ちもともに成長していくことが大事になるでしょう。子どもと言う子どもはいません。子どもと言う人間がいるだけです。一人の人格として成長していくお友たちの日々を、ともに成長していく仲間として暖かく応援していく素敵な親と教師となって行きたいと思えます。

「大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。(聖書)」

チャブレン 司祭 ショシュア 李 香男